

クラスター	社会医学系クラスター			
授業科目名	法医学・実習			
担当者名	責任者	早川 輝	分担者	—
単位数	1単位(選択)		配当年次	1年次
授業形態	その他		実施場所	授業計画の[実施場所]を参照
開講期間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します			
授業の概要・到達目標				
<p>授業の目的:本科目では、我が国における異状死体の取り扱いシステムを学び、死体検案・法医解剖・死後画像診断の手法を知るとともに、医師が知っておくべき法的知識や、突然死、小児法医学、医療事故などの社会的な問題点についても理解を深めることを目的としている。</p> <p>授業の到達目標:法医学の実情を知り、死因究明の重要性を理解する。</p> <p>授業の概要:講義のテーマとしては、下記のテーマを選択できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法医学概論:法医学の歴史と社会的役割について解説する。 2. 解剖制度をめぐる諸問題:我が国の解剖制度をめぐる法制度上の諸問題を提起し、法医解剖の意義、必要性を解説する。 3. 異状死体の取り扱いと死体検案:医師として必要な死体検案の知識を解説する。 4. 医師と法:医師が知っておくべき法的知識を解説する。 5. 突然死:突然死を引き起こす疾患・病態について解説する。 6. 小児法医学:乳幼児突然死や子どもの虐待について解説する。 7. 法医学における個人識別:身元不明死体では身元の確認が必須である。法医学的な身元確認の手段・方法について解説する。 8. 法医画像診断学:CT、パノラマX線撮影装置、超音波診断装置などの法医診断学的応用について解説する。 9. 医療事故:近年、社会問題となっている医療関連死について解説する。 <p>また、講義の他に、法医解剖見学、法医CTカンファレンス参加、症例検討会参加等も単位取得の選択肢としている。受講者には守秘義務を厳守して頂くことを確約して頂きたい。</p>				
授業計画				
	講義 (講義)	題目 (内容)	担当教員	講座名 [実施場所]
1	『授業の概要』にある9つのテーマの中から1つ選択する		早川 輝	法医学 [講座ゼミナル室]
2	法医CTカンファレンス		早川 輝	法医学 [講座ゼミナル室]など
3	症例検討会		早川 輝	法医学 [講座ゼミナル室]など
4	法医解剖見学		早川 輝	法医学 [法医解剖室]
授業形態および成績の評価方法・基準				
講義室(研究室)での講義30時間+自学自習15時間、計45時間で1単位とし、評価は選択した講義、カンファレンスなどへの出席、積極性等を考慮して行う。				
問い合わせ先(氏名、メールアドレス等)				
早川 輝, a.hayakawa@med.akita-u.ac.jp				
その他特記事項				
履修に関する情報:社会人大学院生など、勤務等で予定通り出席できない場合には日程の調整に応じる。				
※ 受講希望者は事前に担当教員に連絡をとり、内容・日時を確認すること。				
※ 法医解剖は随時行われるので、日時が変更になることもある。				
※ 受講者が少人数の場合は、受講者の都合を考慮するので、早めに申し出て頂きたい。				
※ 開講回数が少ないので、出欠を重視する。欠席が多く、本科目の単位を履修出来ない可能性がある受講者は、早い時期に他の科目を履修し直して頂くことがある。				
※ 授業形態は、講義、法医解剖見学、法医CTカンファレンス参加、症例検討会参加等から選択する。				
教科書・参考文献:選択したテーマに応じて、適宜紹介する。				
自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。				